

特集：日豪交換研修2008 報告

YPEP2008 ヤングサミット報告

株式会社森村設計 環境部
YPEP2008 研修生 中村秀親

YPEP2008の最終日に行われましたヤングサミットについてご報告致します。

1. ヤングサミット式次第

日時：10月24日(金)

日程：14：00～ACEA 挨拶

14：10～討論会およびプレゼンテーション

15：20～休憩

15：35～討論会およびプレゼンテーション

17：00 終了

場所：シドニー ACEA 事務局 会議室

2. ヤングサミットの内容

我々研修生6名と各ホストカンパニーの若手エンジニア6名、ACEA事務局員2名、計14名の参加者でYPEP2008ヤングサミットが開催されました。

ACEAで用意して頂いたプロジェクターでは会議室が明るすぎるため、プレゼン資料が見にくいというトラブルがあり、急遽、会議室にあった大型液晶テレビに接続し、予定より少し遅れてのスタートとなりました。

今回のヤングサミットの論題について、ACEAから明確な論題を与えられていなかったため、各研修生の報

告内容に多少の差異はあったものの、研修報告とYPEP2008プログラムのトピックである「若手専門技術者の育成プログラム」の日本とオーストラリアの違いについての報告を中心とした討論会となりました。

3. 若手専門技術者の育成プログラム

研修報告は各研修生の報告書を参考にしていただき事とし、ここでは「若手専門技術者の育成プログラム」についての報告内容、討論内容をまとめました。

(1) 日本と共通している点

- ・「On the Job Training」により訓練・指導している。
- ・若手技術者は、指導者にレポートを提出したり、定期的に発表の機会を経験する。



プレゼンター 矢神氏



ヤングサミットメンバー



プレゼンター 石山氏



プレゼンター長谷川氏



プレゼンター甲斐氏

- ・関係機関によって設定されたプロフェッショナルエンジニアのための「PDPやCPD」など、いくつかの教育プログラムがある。
- ・大学で専門分野の経験を重視している。

(2) 日本と相違している点

- ・先輩技術者が積極的に若手技術者の育成を行っている。
- ・セミナーのスタイルは日本とかなり異なっている。
(参加者間のコミュニケーションを重視)
- ・社会人修士コースを獲得するよう会社から奨励されている。
- ・ネットワーキングの形成を重視している。

4. まとめ

オーストラリアの若手技術者教育も日本と同様で「On the job training」を中心とした教育プログラムであり、プログラムの内容も日本と類似している点が多いことが分か

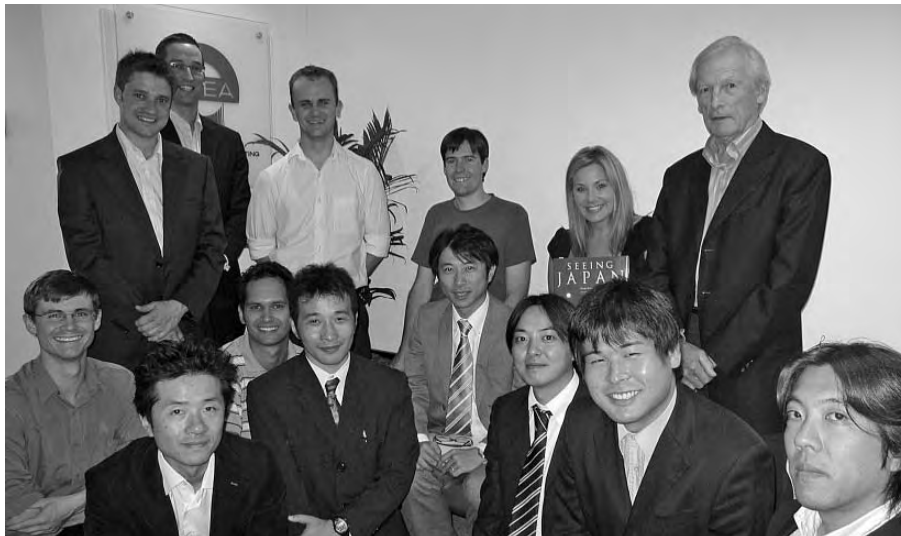


プレゼンター森永氏

りました。

しかし、若手技術者育成プログラムの取り組み方については、メンター側、若手技術者共に日本よりも積極的であると思われます。また、ネットワーキング教育の体系化も日本よりも進んでいると思われました。

我々、日本のエンジニアも学ぶべき事柄ではないでしょうか。



ヤングサミット後記念撮影—ACEA ロビーにて